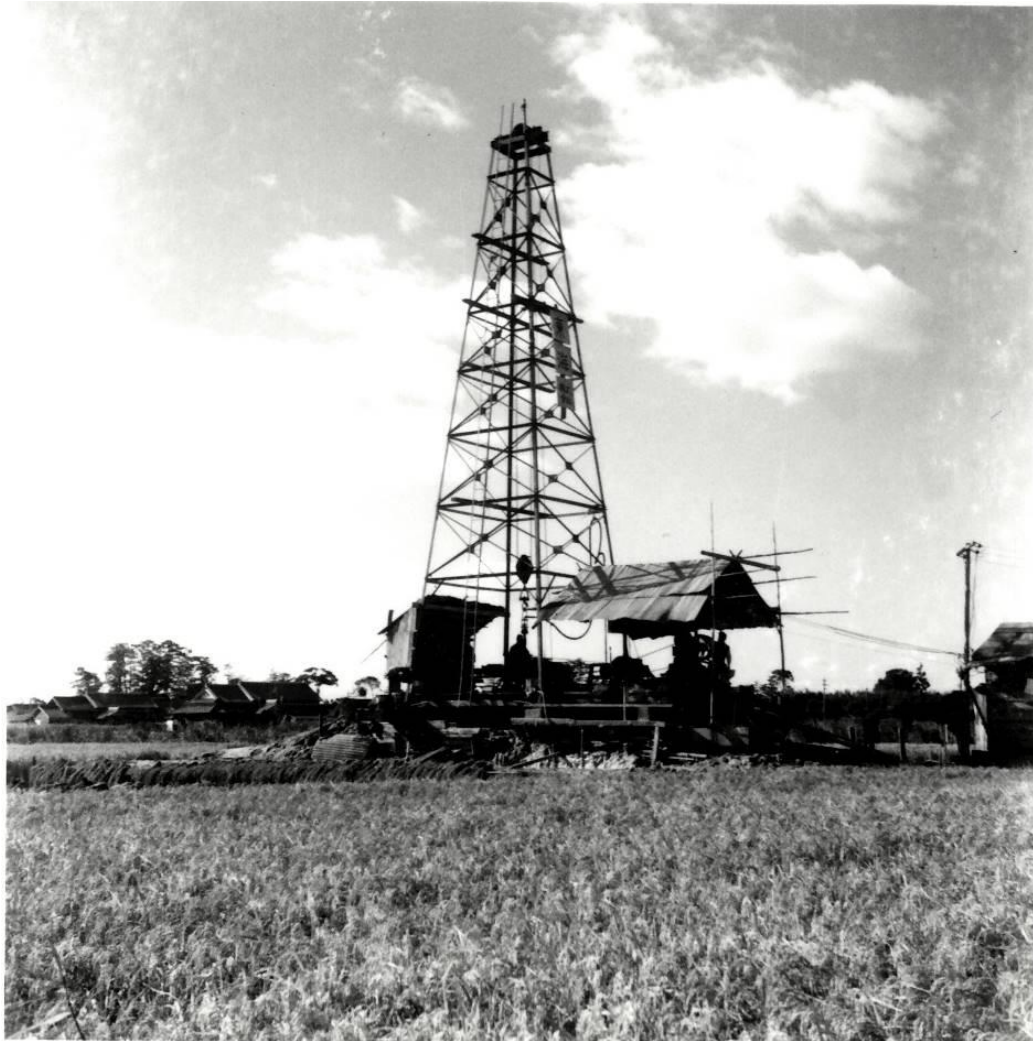


蟹江町歴史民俗資料館 おうちミュージアム

第23回 おわりおんせん 尾張温泉について(答えと解説)



(蟹江町で温泉を掘^ほっている様子)

今回のおうちミュージアムでは、おわりおんせん尾張温泉についてしょうかい紹介します。この写真は、蟹江新田地区で温泉を掘^ほっているときの様子です。田んぼの中に建^たっているのは、温泉を掘^ほるための「やぐら」です。

おわりおんせん
① 「尾張温泉」と名づけたのはだれでしょうか？



ア さとうえいさく
佐藤栄作
しゅしやう
(首相)

(『歴代内閣首相事典』鳥海靖
編 吉川弘文館 2009年
(平成21年)より)



イ くわはらみきね
桑原幹根
あいちけんちじ
(愛知県知事)

(『愛知県史 通史編9 現代』
愛知県史編さん委員会
2021年(令和3年)より)



ウ やまだへいざえもん
山田平左衛門
(蟹江町長)

(『蟹江町史』蟹江町史編纂
委員会 1973年(昭和45
年)より)

答えは、イ 桑原幹根です。

1966年(昭和41年)に高い温度の温泉がわいたので、愛知県知事の桑原幹根氏にお願いして名づけてもらいました。

ちなみに…

ア 佐藤栄作は、そのときの首相で、ノーベル平和賞を受賞した人です。

ウ 山田平左衛門は、そのときの蟹江町長です。

② 蟹江町で最初に温泉が掘られたのはいつでしょうか？

ア 1936年
(昭和11年)

イ 1946年
(昭和21年)

ウ 1956年
(昭和31年)

答えは、ウ 1956年(昭和31年)です。

1955年(昭和30年)ごろの日本ではレジャーブームとなり、各地で温泉を掘る計画が立てられました。蟹江町でも「水郷温泉公園計画」をつくり、1956年(昭和31年)に温泉を掘り始めました。そして1957年(昭和32年)に300mの深さから27.5度の温泉がわき出ました。これが蟹江町の温泉の始まりです。

③ 尾張温泉の建物を古い順にならべてみましょう。



ア

イ

ウ

答えは、ア → ウ → イ です。

ア 1957年(昭和32年)にできた建物です。温泉がわき出た後、すぐに建てられた温泉旅館です。円盤の形をしたお風呂が有名でした。

ウ 1963年(昭和38年)にできた建物です。丸い大浴場と演芸ホールがありました。

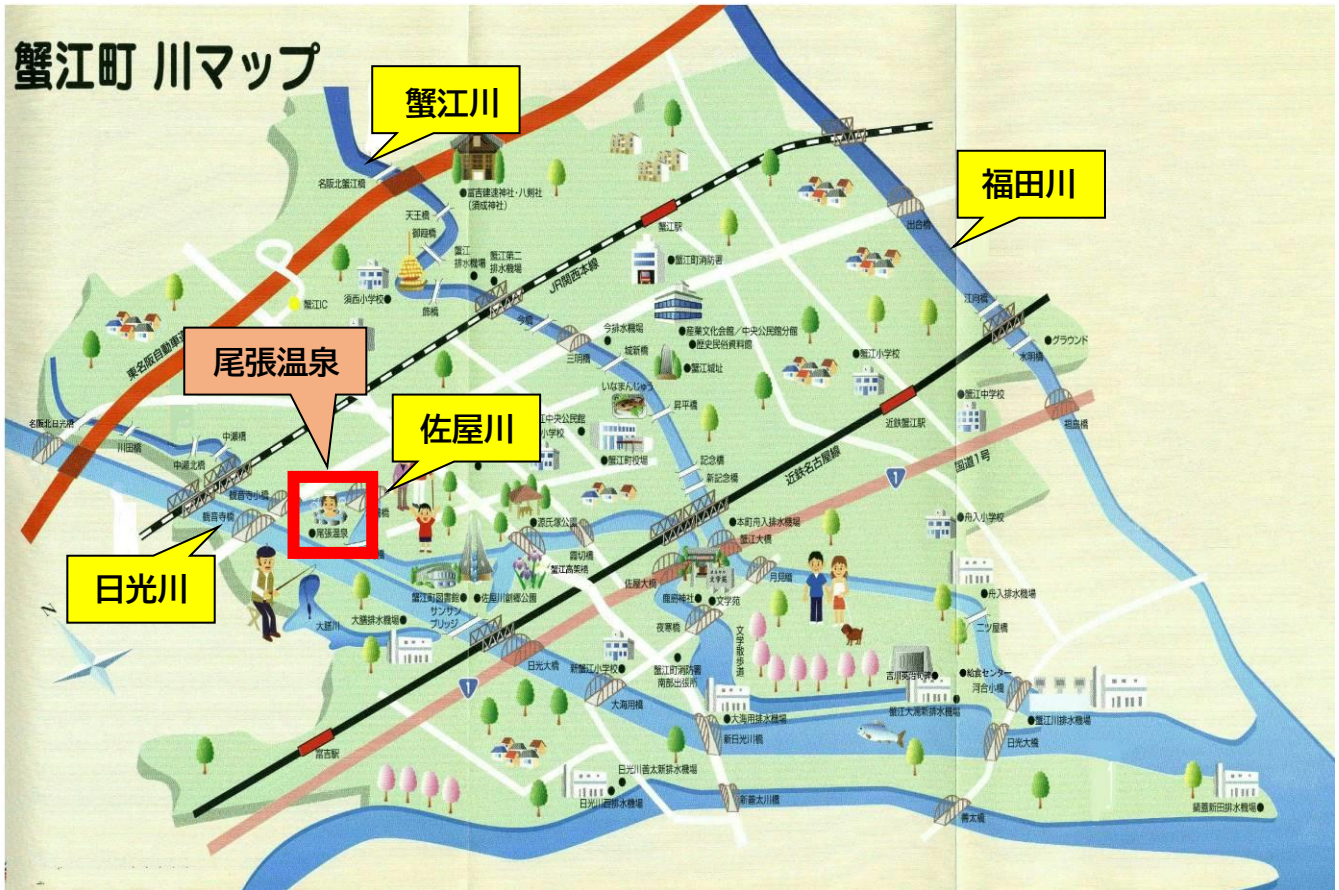
イ 1968年(昭和43年)にできた建物です。演芸ホール・温泉施設とホテルを橋でつなげためずらしい建物でした。(現在は温泉施設のみが運営されています)

おわりおんせん
④ 尾張温泉はどの川の間にあるでしょうか。

ア 日光川と佐屋川

イ 佐屋川と蟹江川

ウ 蟹江川と福田川



答えは、ア 日光川と佐屋川です。

尾張温泉の西側には日光川、東側には佐屋川が流れています。蟹江町にはいくつかの川が流れており、魚釣りをしている人をよく見かけますが、とくに尾張温泉の近くでは、ボラ釣りをする人達でにぎわいます。

ちなみに日光川と佐屋川ですが、昔はつながっていたと考えられています。

おわりおんせん 尾張温泉について

おわりおんせん 【尾張温泉の歴史】

日本では、1955年(昭和30年)ごろに温泉ブームとなりました。

蟹江町では1957年(昭和32年)に佐屋川の近くを掘り、地下300mから27.5度の温泉がわきました。1963年(昭和38年)には丸い形の大きなお風呂や演芸ホールのほか、遊園地やプール、大しょうぶ園もつくられ、家族で楽しめる温泉郷となりました。



初めて温泉がわいたところ

1965年(昭和40年)には、よりあつい温度の温泉を求めて掘り始め、次の年に地下1100mから約55度の温泉がわき出ます。この温泉は、当時の愛知県知事であった桑原幹根氏によって「尾張温泉」と名づけられました。



遊園地や花しょうぶ園があったころの尾張温泉(『二十年のあゆみ』東放企業株式会社 1992年(平成4年)より)

1968年(昭和43年)には建物が新しくされ、佐屋川の両岸に演芸ホールやお風呂、ホテルが建てられました。さらに南側には、ゴルフ場やウォータースライダー付きのプールも作られました。



佐屋川の西側にある演芸ホール・風呂場と東側にあるホテルは、連絡通路で結ばれていました。（『二十年のあゆみ』より）

こうして尾張温泉は、泊まりながら楽しめる温泉宿として、多くの人でにぎわいました。

その後、ホテルや演芸ホールはなくなりましたが、温泉だけは今も変わらずに人々のいやしの場となっています。

【おわりおんせん尾張温泉のここがすごい！① 温泉付きの家】

尾張温泉に近いなか せ だ い ち く中瀬台地区などには、温泉付きの家もあります。尾張温泉ではたくさんのお湯がわいているため、このような家を建てることのできるのです。

おわりおんせん
【尾張温泉のここがすごい！② 大相撲ストリート】 おおずもう

尾張温泉の近くには「大相撲ストリート」とよばれる道があります。平成時代の名古屋場所において町内に^{しゆくしゃ} 宿舎をかまえた、二つの相撲部屋^{すもうばや}の力士^{りきし}たちの足型^{あしがた}が埋められています。そのなかには横綱^{よこづな}のものもあるので、立ち寄^よってみてください。力士たちの足の大きさに、きっと^{おどろ} 驚くことでしょう。



おわりおんせん
【尾張温泉のここがすごい！③ 病気にも効く!?!】 びょうき き

尾張温泉のお湯には、^{しんけいつう} 神経痛や^{びょうき} リューマチという病気や^{きず} 傷に効き目のあるお湯として、「日本の名湯百選^{めいとうひゃくせん}」に選ばれています。これに選ばれている温泉は、^{あいち} 愛知県^{けん}では尾張温泉だけです。

おわりおんせん
【尾張温泉のここがすごい！④ 「足湯かにえの郷」と蟹江町多世代交流施設「泉人」】 あしゆ さと た せ だ い こ う り ゅ う し せ つ せ ん と

蟹江町には、ほかにも温泉施設があります。2006年(平成18年)に「足湯かに^{あしゆ} えの郷^{さと}」、2018年(平成30年)に蟹江町^た多世代交流施設^せ「泉人^{せんと}」をつくりました。蟹江町は温泉のある町としてこれからも^{あゆ} 歩みつづけます。温泉を利用したいろいろな施設^{し せつ}を、ぜひ^{おとず} 訪れてみてください



現在の尾張温泉



「足湯かにえの郷」



多世代交流施設「泉人」